あさひ台

学　校　報
第　４９８号
R4．7．22
五城目小学校

学校教育目標	夢高く　心たくましく　学び合う五小の子 ～　つなぐ　ひらく　つくる　～

心の学び障害理解学習と縦割り班活動

本校の特色ある教育活動の一つに「心の学び障害理解学習」があります。インクルーシブ教育に基づく共生社会の実現を目指し、障害に関する知識を得て障害者だけでなく身近な人に対して相手の気持ちや自分がどうすればよいかを考える学習であり、本校の経営の重点である「認め合い、尊重し合う心の育成」を目指す取組です。今年度も特別支援学校の協力をいただき、次のとおり実施しました。

学年	実施日	学習内容	協力校
１年生	６／28（火）	いろいろな人がいるよ	天王みどり学園
２年生	７／８（金）	みんなが生活しやすい工夫	天王みどり学園
３年生	６／28（火）	耳の不自由な人を理解しよう	聴覚支援学校
４年生	７／８（金）	目の不自由な人を理解しよう	視覚支援学校
５年生	７／12（火）	手足や体の不自由な人を理解しよう	秋田きらり支援学校
６年生	６／28（火）	見えない困り感のある人を理解しよう	天王みどり学園

５年生は、車いすに乗ることや操作することを体験して、「人にやさしい支援とは何か」を考えました。車いすに乗って押してもらうと、今まで気づかなかった不安を感じます。その不安を解消するためにはどうしたらよいかを考えて車いすを操作します。そしてグループで「人にやさしい支援」について話し合います。体験を通して、「声をかける」「次の動作を伝える」ことなどで不安が解消できることに気付いたようです。声をかけたり次の動作を伝えたりすることは、体の不自由な人に限らず、すべての人にとって不安を解消する支援となります。これらの学習をとおして、すべての学年が多様性の理解や思いやりについて学びました。

７月１３日は、縦割り班による全校ウォークラリーを実施しました。プログラム委員の言葉にあったとおり「待ちに待った延びに延びた」実施でした。歩き出したある班から「道路を横断するから気を付けて」という声が聞こえました。おそらく班長の声かと思われます。これはまさしく「相手の不安を解消する思いやりの声」です。終わりの会ではこの声を紹介し、「ウォークラリーの活動も、思いやりのある行動も五城目小学校の自慢である」と伝えました。

学習と実践の場がつながり、子どもたちが確実に成長していることを実感しました。

（校長　島﨑徳之）

安全で楽しい夏休みに！！

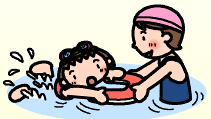
　いよいよ、子どもたちが心待ちにしていた夏休みが始まります。夏休みの期間は、これまでの学校中心の生活から家庭や地域での生活が中心となります。学校では、「夏休みのしおり」をもとに事前に指導を行っておりますが、ご家庭でも次の点について子どもたちとよく話し合い、「自分の命と安全は自分で守る」を合言葉に、事故やけがのない楽しい夏休みを過ごしてほしいと思います。

◎規則正しい生活リズム
・早寝、早起き、朝ご飯、ゲームや電子機器は時間を決めて行うこと

◎交通事故の防止
・交通ルールや自転車のルールを守ること
・道路への飛び出しは絶対にしないこと
・自転車で行ける範囲を確認し、守ること

◎事故の防止
・知らない人についていかないこと
・身の危険を感じたら「子ども１１０番の家」や近くの家・お店などに助けを求めること

◎水難事故の防止
・水泳や魚釣りは、責任のある大人と一緒に行くこと
・子どもだけで水辺・川などに行かないこと



◎行き先の把握
・行き先や帰る時刻を必ず家の人に話し、所在を明らかにしておくこと
・習い事が終わったらそのまま遊びに行かず、必ず一度家に帰ること

◎新型コロナウィルス感染症予防
・手洗いや消毒、会話時のマスクの着用を徹底すること

「６年間で泳げるようになる」

　今年度も６月から１１月上旬をめどに、全校児童による「皆泳プロジェクト」がスタートしています。これは、普段の授業で行う水泳学習を踏まえ、水遊びや水泳運動の楽しさや喜びに触れ、発達段階に応じた基本的な動きや技能をさらに身に付けるために行っています。五城目屋内温水プールのスタッフの全面的なバックアップで成り立っています。『６年間で泳げるようになる』ことを目標にがんばっています。

「新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金・支援金」について

　厚生労働省においては、新型コロナウイルス感染症の影響による小学校等の臨時休業等に伴い、子どもの世話を保護者として行うことが必要となったことにより、仕事ができなくなっている子育て世代を支援し、子どもの健康、安全を確保するための対策をしています。関心のある方は、アクセスしてみてください。

ケリー先生ありがとう

　本校の子どもたちにＡＬＴとして指導していただいた、ケリー先生がこの度２年間の勤務を終了し、シドニーに帰ることになりました。
　７月１５日（金）が小学校での最終日となり、子どもたちとお別れしました。今までありがとうございました。